

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	35	学校名	関高等学校
------	----	-----	-------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	自己実現と社会貢献できるひとの育成に取り組む高校として 校訓「進取・至誠・練磨」のもと、探究的な学びを推進した教育活動を通して グローバル・リーダーの育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	豊かな人間性を備え、課題発見・課題解決力を活かして、自己実現と社会貢献ができるひとを育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代に確かな学力を身につけ、自分の将来を設計できる生徒（日々練磨）</li> <li>・課題解決力やコミュニケーション力を身につけ、どんな困難にも立ち向かえる生徒（進取の気概）</li> <li>・豊かな人間性を身につけ、人の立場を理解し、思いやりある行動がとれる生徒（至誠の心）</li> <li>・グローバル社会にふさわしい素養を身につけ、多文化共生をめざすことができる生徒（グローバルな視野）</li> </ul>	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成や授業改善により「思考力」「判断力」「表現力」「コミュニケーション力」を伸長し、多様化する大学入試制度等に対応した進路指導を実現（Study hard!）</li> <li>・生徒会活動・部活動及び学校行事への主体的参加を促し、集団における個の役割を自覚させるとともに、個を活かす集団づくりを支援（Work hard!）</li> <li>・学校生活の中で、互いを尊重できる人間関係の構築と、感謝の気持ちを大切に行動の具現化を図り、生徒の心身の健康保持のため、家庭との連携を強化（Be sincere!）</li> <li>・総合的な探究の時間で取り組むSDGsの実現に向けた課題解決型研究を通して、グローバルな視野をもち、多分野で活躍できるひとを育成（Be global!）</li> </ul>	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代に基礎学力を向上させ、卒業後は大学等に進み、より深く学びたいと考えている生徒</li> <li>・自ら課題を発見し、その課題を解決しようという意欲にあふれた生徒</li> <li>・学ぶこと・知ることの楽しさを見つめたいと強く願う生徒</li> </ul>	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動などを通じた生徒の可能性を引き出す指導体制の充実と持続可能な仕組みづくり</li> <li>・生徒、教員ともに進路意識を向上させるための支援およびICT技術の活用を踏まえた入試への対応</li> <li>・生徒間の人間関係の構築や進路実現など、個々に寄り添った支援体制の充実と、多様化する事案に対応するための家庭や外部機関との連携の強化</li> <li>・感染症・熱中症対策を踏まえた適切な活動方法の検討と、学習と部活動の両立への支援</li> </ul>		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	進路指導	確かな学力とともに、勤労観や職業観を涵養し、自分の将来を設計できる能力を育成する（勉強する関高生“Study hard!”）	
	生徒指導	生徒一人ひとりのコミュニケーション能力や課題解決能力を育成する（誠実な関高生“Be sincere!”）	
	特別活動	集団の中で互いに尊重できる豊かな人間性と個の役割を自覚し主体的に実行できる力を育成する（汗を流す関高生“Work hard!”）	
	その他	国際的な素養を身に付け、多様な価値観を認めあえる人材を育成する（グローバルな関高生“Be global!”）	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT技術デジタル教材、生成AIを活用して授業準備や小論文等の指導における負担軽減を図る。</li> <li>・勤務時間制度（勤務時間のスライド、週休日の振替、変形労働時間制）を有効活用して教職員の業務都合に合わせた柔軟な働き方を推進する。</li> </ul>		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A.B.C.D	成果と課題	総合 評価 A.B.C.D
進路指導	①基礎基本の確実な定着と、発展的な思考・判断・表現力の育成の両立を目指す授業改善に努め、主体的に学習に取り組む姿勢を育てる。	施策Ⅱ-11	①学校評価アンケートの学習指導、進路指導に関わる該当箇所での肯定的評価80%以上。				
	②デジタル教材を有効活用して自ら学び、将来を見据えて社会の諸課題を探究しようとする生徒を育成し、魅力ある学校づくりを推進する。	施策Ⅳ-20					
	③生徒・教員ともに生成AIを有効活用できるよう研修等を行う。志望理由書・小論文添削・面接想定問答等の作成支援と教員による指導を組み合わせ、よりよい進路支援を行う。	施策Ⅱ-9					
	④進路行事を幅広く実施し、生徒が自己実現できる力を養成する。また、単位制の教育課程を生かし、生徒の多様な進路希望実現のための学力向上を図る。	施策Ⅱ-13					
生徒指導	①「時間」「約束」を守り、「挨拶」「感謝」を大切に行動の具現化を図る。	施策Ⅰ-1	①学校評価アンケートの生徒指導に関わる該当箇所での肯定的評価80%以上。 ②遅刻数、欠席数、携帯使用マナー違反数。 ③保健室、教育相談室の利用状況。 ④PTA役員会、保護者懇談会、学校運営協議会等の意見。				
	②生徒の心身の健康を支援する環境づくりと家庭との連携を密にする。	施策Ⅲ-19					
	③教職員と家庭、地域の方々の連携を深め、教育活動を展開する。	施策Ⅰ-7					
特別活動	①部活動への積極的な参加を促し、集団における個の役割を自覚させると同時に、個を活かす集団のあり方を学び、協調性と個性を尊重する態度を育てる。	施策Ⅳ-25	①学校評価アンケートの学校行事、部活動、探究活動等に関わる該当箇所での肯定的評価80%以上。 ②地域と連携した活動に関わる生徒の比率20%程度。				
	②生徒が生徒会活動やFRHに関わる活動を体験し、様々な行事を主体的に運営できるよう支援をする。	施策Ⅰ-1					
	③FRH活動や異校種間交流の機会を通じ、地元の様々な催しに参画し積極的に校外で関高生が活躍する機会をつくる。	施策Ⅰ-4					
その他	①1年次で地域の活性化、2年次でSDGsをテーマに課題解決型研究を実施し、生徒の視野を大きく広げる支援を行う。	施策Ⅱ-8	①学校評価アンケートの学校行事、探究活動等に関わる該当箇所での肯定的評価80%以上。 ②各年次のHR及び年次発表会の実施。 ③語学の力を活かす活動の参加者の増加。 ④各講演会・交流会のオンライン参加を含めた外部参加者100名。				
	②グローバルに活躍できる人材を育成し、さらにその力を活かす機会として国内外の研修や地域の催しへの参加を促す。	施策Ⅱ-11					
	③地域の方々、卒業生、保護者等、多様な人材を活かした講演会や交流会を実施する。また広報活動を活性化させ、講演会・交流会を地域の方々に開放する。	施策Ⅰ-4					

来年度に向けての改善方策等	実施日：令和9年 月 日	学校関係者評価	実施日：令和9年 月 日